



KIDS
DESIGN
AWARD
2017

第11回キッズデザイン賞

プレゼンテーションシートの作成につきまして

応募者のみなさまから、プレゼンテーションシートに関する多数のお問合せがあり、改めまして、プレゼンテーションシートについてご案内させていただきます。プレゼンテーションシートは、審査ポイントに沿って作品の要点を簡潔にご説明いただくことが目的です。応募フォームのアピールポイントだけでは記入しきれない特徴を、ビジュアル(図版・写真)等を活用して、わかりやすく訴求してください。

①課題の着眼点

各製品や取組は多くの機能や特徴を有している場合がほとんどですが、「キッズデザイン」の視点から、その中でも特に、子ども、子育てに関することで、どのような点が課題だと考えたかを明らかにしてください。ここで言う課題とは、「子育てにおいて〇〇を行う状況が不足している」「子どもの安全の視点から〇〇は危険と考えられる」といった課題解決型のものから、「子どもの発育において〇〇の向上を目指すべきである」「子育て層に〇〇の環境を届けたい」といった開発の契機やそれに至った思いなどでも結構です。

②課題へのアプローチ

応募される3つの部門において、どのようなデザインの工夫を行なったかを記入してください。応募作品の機能、仕様、構成やプログラムの具体的な内容も大切ですが、その作品が社会や市場へ出た結果、子どもや子育てする方々にどのようなメリットや成果が見られたか、あるいは見込まれるのかを明記していただくと、よりわかりやすくなります。また、これまでの類似の製品や取組と比して、どこが新しいのか、何を進化・変更したのか、が明確に書かれていることが重要です。

③エビデンス・実績

応募作品を実際に使ったり、体験したり、取り入れたりした結果、ユーザーや生活者、地域や施設、学校からどのような反響があったか、例えばアンケートの声や数値の変化、調査結果など、定量的・定性的どちらでも構いませんので記入してください。新製品であり、まだ利用者や市場からの反響がない場合、BtoBのビジネスモデルでユーザーの声が把握しにくい場合などは、今後、応募作品をどのように広げていく予定か、そのためにどのような取組・活動を展開したいか、事業者や自治体からどのような反響があったか等を記載してください。

上記は「記入例」であり、この項目を満たしていないといけないものではありません。また①～③の記載量のバランスも自由で結構です。応募作品の特徴や差別化のポイント、デザインの工夫が最も伝わると考えられる方法でシートを作成してください。

<お問合せ> 第11回キッズデザイン賞事務局

TEL03-5405-2142(平日10時～17時) メール2017kids@kidsdesign.jp